

ひたちキャンドルナイト

東日本大震災から3年目を迎える2014年3月11日（火）に、「ひたちキャンドルナイト～未来への灯火」を開催しました。多くの犠牲を生んだ東日本大震災の慰霊と、未来への飛翔を願って実施したイベントです。全長900mのひたち銀座通り商店街を10,000本のキャンドルで飾り、商店街を幻想的な空間に変えました。灯火のなかで、ゴスペル等の音楽イベントも開催されました。なお、キャンドルの灯籠には、地元小学生たちの将来の夢が描かれています。

ひたちキャンドルナイトは、主催である日立青年会議所や、茨城キリスト教学園（大学、認定こども園、みらい・せいじ園）、明秀学園日立高等学校などの、地元の若者たちの手で企画・運営されています。春休み期間中という学生が集まりにくい時期ではありましたが、本学から総勢80名の学生ボランティア（および教員1名）が参加し、スタッフとして活躍しました。

キャンドルナイトは、成功裡に終わることが出来ました！ スタッフの皆様、本当にお疲れ様でした。本学は、日立青年会議所と、多くの地域連携イベントで協働しています。2014年2月には、連携協定も結びました。年々、地域における協働の和が広まっていると感じます。うれしい限りです。震災は、大きな不幸でした。この不幸をきっかけに、地域が手を取り合って前進していくことを願う次第です。

【キャンドルのフード作成】



1. ペットボトルの加工（本番前1カ月）

キャンドルを街なかで裸のまま点火するわけにはいきません。ペットボトルを加工したキャンドルのフードを、10,000個作る必要がありました。LINEで協力者を募りながら、連日のようにフード作りをしました。フード作りのマニュアルや動画をネット上にアップするなど、多くの工夫がなされました。

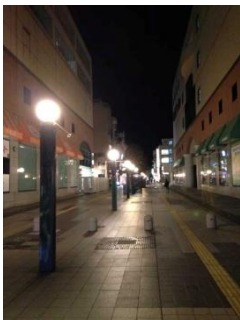


2. ペットボトルの加工（本番前1カ月）

イベント本番前の1カ月間は、ペットボトルのフード作りに明け暮れました。商店から提供してもらったものを洗浄して使うため、ペットボトルの形状や強度は、まちまちです。

フードは、錘と防火のため、中に水を入れる構造になっています。本学11号館と青年会議所事務所にて、フード作りが進められました。

【当日の準備】



4. 前日の会場確認（前日19:00頃）

平日夜18:00の商店街の様子です。寒かったこともあり、通りは閑散としていました。



5. イベント当日（当日12:00頃）

日立駅前の新都市広場の様子です。写真奥に見える2つの大型店に挟まれる形で、商店街が伸びていきます。

ひたち銀座通り商店街は、パティオモール、マイモール、銀座モールという3つの商店街から構成されます。茨城キリスト教大学の担当は、パティオモールとマイモールです。

【前日の準備】



3. 前日の会場確認（前日18:00頃）

キャンドルは、商店街の道路に設置されます。当然、自動車を通行止めできる時間には、制限があります。通行止めが始まる当日の12:00から点火開始の16:00までの4時間で、10,000個のキャンドルを設置しなければなりません。前日に、スタッフのリーダー達が会場を下見し、キャンドルを置く位置をマーキングしていきました。それにしても、この日は実に冷え込む夜でした。



6. キャンドルの設置（当日12:00頃）

配置図に合わせ、キャンドルを設置していきます。あいにく風が強かったので、灯籠は点火時に付けることにしました。通りには、水を入れたペットボトルのフードがずらっと並べられています。

商店街は長いので、エリアごとに分担を決めてキャンドルを配置していきます。



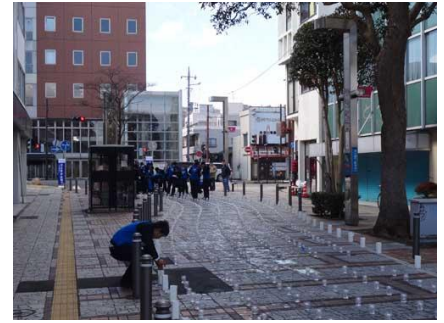
7. キャンドルの設置（当日 13：00 頃）

本部と第一ステージが設置される「水の広場」です。ここでは、キャンドルで絵や文字が描かれました。



8. キャンドルの設置（13：00 頃）

自動車の通行規制が始まり、キャンドルのセッティングを開始しました。灯籠は、小学校単位で配置していきます。子どもたちが、自分が描いた灯籠の位置を分かるように、配置見取り図が張り出されています。



9. 明秀学園日立の高校生（13：00 頃）

銀座モール商店街は、明秀学園の担当です。授業の合間を縫って、大勢の高校生たちが参加してくれています。波状の難しい配置ですが、ロープを使って巧みにキャンドルを並べていきます。さすがです。



10. ペットボトルの水入れ（13：00 頃）

商店街には、水道が数か所設けられています。そこから水を汲み、ペットボトルに水を入れていきます。



11. 開会式（14：00）

14：00 に開会式が行われました。イベントの趣旨説明がなされています。



12. 黙とう（14：46）

東日本大震災が発生した 14：46 になると、黙とうが捧げられました。

【イベント開始】



13. オープニングセレモニー（16：00 頃）

ひたちキャンドルナイトは、日が暮れはじめる 16：00 スタートです。オープニングでは、茨城キリスト教学園の園児たちによる合唱とお遊戯が行われました。かわいい子どもたちの様子に、会場が沸きました。



14. オープニングセレモニー（16：00 頃）



15. 地元テレビ局の取材（16：00 頃）

学生ボランティアのリーダーたちが、地元テレビ局の取材を受けています。



16. 灯籠 (16 : 00 頃)

ペットボトルのフodの上から、手作りの灯籠を被せていきます。一つ一つの灯籠には、地元の小学生たちの夢が描かれています。灯籠は、小学校別に並んでいます。



17. キャンドルの点火 (16 : 00 頃)

16 : 00 になると、10,000 本のキャンドルが一斉に点火されます。といっても、スタッフ数は限られているので、点火も大変な作業です (笑)。



18. キャンドルの点火 (16 : 30 頃)

こちらは自由レイアウトされたキャンドルです。日が暮れてきて、徐々にキャンドルが輝き始めました。



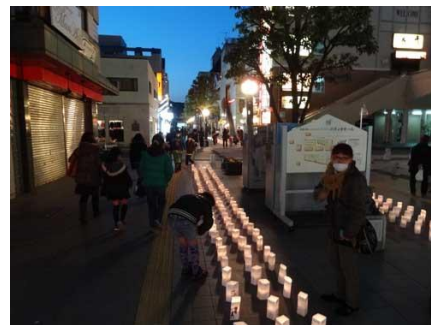
19. キャンドル (17 : 00 頃)

こちらは、パティモール入口の自由レイアウトスペースに設けられた「ひたちキャンドルナイト」の文字です。写真では分かりにくいですが、文字が綺麗に浮かび上がっていました。



20. キャンドル (17 : 00 頃)

通行人が、キャンドルに描かれた絵に興味深そうに眺めています。



21. キャンドル (17 : 00 頃)

小学生たちも集まり始めました。自分の灯籠を探しているようです。自分の灯籠を見つくと、歓声を上げていました。



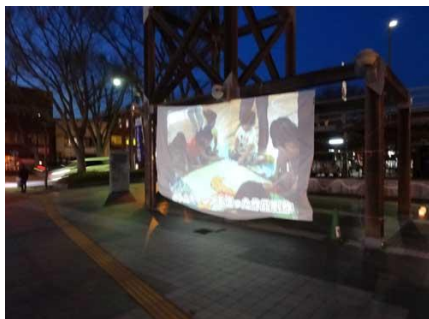
22, 23. キャンドル (18 : 00 頃)

親子連れを始め、大勢の方たちが商店街にやってきて、通りが賑やかになりました。それにしても、子どもたちの夢が浮かび上がるキャンドルは、実に綺麗です。



24. 音楽イベント（18：00 頃）

商店街の 2 か所に設置されたステージ
では、音楽イベントは開かれました。



25. 震災の映像（18：00 頃）

会場にはスクリーンも設置され、被災当
時の様子や、復興支援の様子等が投影さ
れました。



26. 自由参加ブース（18：00 頃）

灯籠を描きたい子どものために、自由参
加ブースが設けられました。小学校入学
前の子どもたちが、一所懸命、将来の夢
を描いていました。



27. 防災対策（18：00 頃）

風などでキャンドルが転倒した場合に備
え、通りの各所には、水を満たしたペット
ボトルやバケツが配置されています。



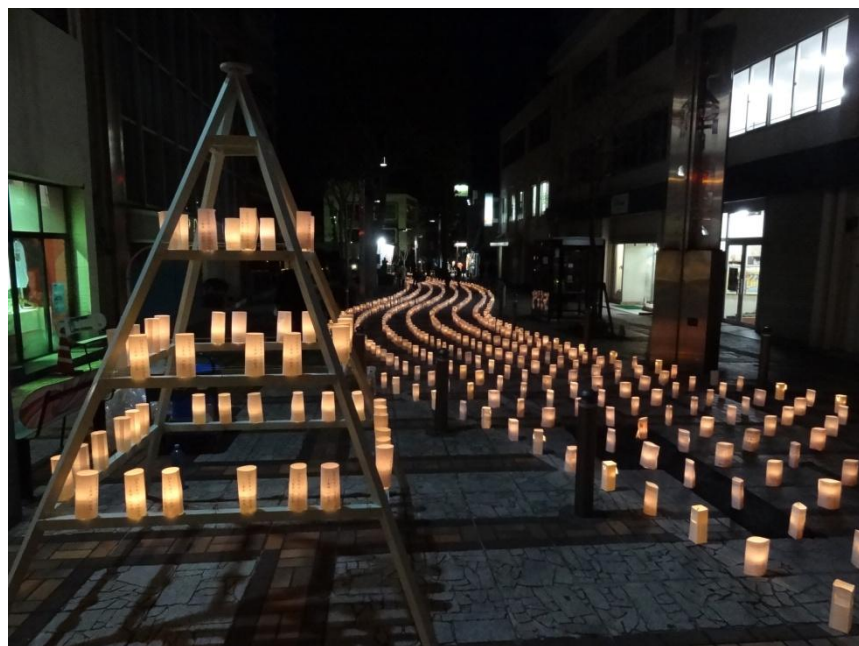
28. キャンドル（19：00 頃）

客足ものび、商店街がどんどん
賑やかになっていきます。



29. キャンドル（19：00 頃）

こちらは銀座モールの自由
レイアウトです。
無数の星が描かれています。



30, 31. キャンドルの大河（19：00 頃）

キャンドルで描かれた大河です（銀座モー
ル）。この光の川が、900m 先の駅前まで続
きます。幻想的な光景です！



32. 本学の合唱団（19：00 頃）

第二ステージにて、本学合唱団によるコーラスが始まりました。キャンドルの灯りのなかでの讃美歌の合唱は、何とも幻想的で美しかったです。キリスト教大学の面目躍如です。



33. よって家での飲食販売（19：00 頃）

ひたち銀座商店街には、交流拠点である「ふれあいステーション よって家」が作られています。普段はここで各種イベントが行われています。本日は、焼き鳥や団子、うどんなどの販売が行われました。



34. よって家（19：00 頃）

無料で提供された甘酒を賞味する通行者。寒い日には甘酒が一番です。



35. モルちゃん焼き（19：00 頃）

ひたち銀座通り商店街が誇るマスコット「モルちゃん」が描かれたモルちゃん焼きです。



36. ゴスペルミュージック（19：45 頃）

キャンドルナイトも終了に近づいてきました。水の広場のステージの最後を飾る皆さんの合唱です。



37. キャンドル（19：45 頃）

イベントは 20:00 終了です。苦勞して制作・配置した 10,000 本のキャンドルを、たった 4 時間で撤去してしまうのはもったいない気もします。でも、有限だからこそ、思い出深いものになるのでしょう。

【撤収作業】



38. 撤収作業（20：00 頃）

車の通行規制が解除される前に、通りをもとの状態に戻さねばなりません。20：00 になると、撤去作業の開始がスタッフに伝達されました。事前の打ち合わせ通りに、撤去作業が一斉に始まりました。



39. 撤収作業（20：30 頃）

灯籠を外し、火を消し、キャンドルとペットボトルのフードを廃棄するという一連の作業が、効率的に進められます。設置だけでも 4 時間以上要したキャンドルですが、撤去はわずか 30 分で終了しました。この後、道路に垂れたロウの清掃等が行われ、通りは元の状態に戻りました。

これまでの日立青年会議所との協働事業

1. ひたちサンドアートフェスティバル | <http://www.icc.ac.jp/inobweb/sandartfes.html>
2. ひたちキッズワールド http://www.icc.ac.jp/campus/kids_130602.pdf